



DATA・BOARD 79

- ①愛知県名古屋市中村区・中区
- ②延長：3,030m，幅員：30～40m
- ③街路灯，彫刻，噴水ほか
- ④御影石，磁器タイル，植栽ほか
- ⑤名古屋まつり，広小路まつり



「広小路通」は江戸時代にできた道路で、その後の名古屋駅開設に伴う延長や区画整理などにより整備が進み、市内を貫通する主要幹線として名古屋発展の軸となってきた。市では、この歴史のある道路を景観整備地区および緑道として位置づけ、緑豊かで景観に優れ、安全快適な道路空間の創出を図った。

整備にあたっては、歩道部を拡幅して主に御影石張りにしたほか、ケヤキの植樹を中心に多彩な植栽を施して四季の変化を楽しめるようにした。車道照明は標識や信号を統合して美装化柱に、歩道照明はチタン製の柱にベネチアングラスの灯具を取付けて気品あるものとした。

沿道には、地元商店街が彫刻や噴水などのモニメントを設置し、地域の個性と活性化への意気込みを示している。

79

ひろこうじどおり
広小路通

● 出会いを演出する街角